

等々の対策も必要だなと考えているところではございます。

○大道寺 信委員長 7番、我妻 昇委員。

○7番 我妻 昇委員 時間もないので、その他の指標というふうにも言っていたんですが、例えば将来負担比率、ちょっと私もここ余りずっと気にしてなかったと言うとあれなんです、よくわからない状態でしたんですが、県内では長井市24年度の決算では127.3%というふうにあります、県内では28番目なんです。悪いんですね。悪いというか、28番目ですので、下から6位なんです、こういった部分というのは単純に将来負担比率とは自治体が将来負担する必要がある実質的な負債額がその自治体の財政の大きさに占める割合を示したもので、負債額には発行している地方債残高やその償還に充てる繰入金のほか地方公務員の退職手当の支給予定額なども含まれるということですけども、これが結構高いんだなというふうに、長井市が、この将来負担比率について財政課長はどのような見解をお持ちでしょうか。

○大道寺 信委員長 齋藤環樹財政課長。

○齋藤環樹財政課長 将来負担比率につきましては、地方公共団体の借入金、代表的なものは地方債など抱えている負債の大きさ、その他、それに加えて債務負担行為とかも含めまして将来負担比率につきましては、特に実質公債費比率につきましては一部事務組合等も含めますが、将来負担比率につきましては第三セクター等含めた実質的な将来の負担ということで、その団体、団体でいろんな事情があるということで、長井市の場合、いろんな特殊事情もございまして、減ってはいますが、現時点では高くなっているということだと考えております。

○大道寺 信委員長 7番、我妻 昇委員。

○7番 我妻 昇委員 時間もありませんので、その将来負担比率というのも公営企業だとか第三セクターということですね。第三セクターも

自治体によって大分事情が違いますが、長井市も抱えてますので、その辺も踏まえて総合的な判断をしていかないと将来に禍根を残すということになりかねないと思っております。

市長に最後に、2番目の質問がもうできなかったんですが、最後に、市長に経常収支比率について後年度弾力性のない予算を組まざるを得ないことになるのではないかというふうに私は思っております。公共施設やその他いろんなことに取り組むのはもちろんいいんです。市民のニーズに応える、あるいは今までできなかったことをしていくというのはいいことだと思いますけれども、経常収支比率が高くなって将来財政を圧迫させてしまうということについて市長の見解を最後にお伺いして終わります。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。簡単に答弁をお願いします。

○内谷重治市長 平成18年は、全国の自治体1,900あったわけです。ワースト11位ですから、こんなによくなったということですね、ある面から見れば。ただ、まだまだ大変だということでもあります。

経常収支比率については、我妻委員おっしゃるとおりなんです、弾力性がない、硬直化してるということは確かではありますが、かつては100を超えてましたし、また原因が幾つかありまして、そういった部分では特に公共下水道の繰出金等が非常に大きいと、そういった特殊要因があります。今後は、できるだけ財政構造を変えるように、自主財源の比率を高めていくとかそういうことをしながら、今の地方交付税制度の中では限界がありますけれども、やっぱり公共事業等は計画的にやっていきたいと、そのように考えてるところでございます。

○7番 我妻 昇委員 ありがとうございます。

今泉春江委員の総括質疑

○**大道寺 信委員長** 次に、順位6番、議席番号4番、今泉春江委員。

○**4番 今泉春江委員** 今泉春江でございます。よろしくお願いいたします。

一般質問と同じような質問でございますが、26年度の予算とも関係しますので、再度質問させていただき、疑問が解決し、前進できますお答えを期待いたします。原稿も出しておりますので、またかと思わず答弁よろしくお願いいたします。

まず、最初の質問です。観光交流センターの見直しをということですが。

ずっと私は、問題点や疑問を指摘してまいりました。この3月にも関連予算が出ております。ここで一つずつお伺いいたします。

まず、観光交流センターで長井市が活性化するのでしょうか。どの程度活性化するのですか、お答えください。賛成する方は、長井市が活性化し、雇用が生まれるとしておりますが、実際にはどうなんでしょうか。雇用はどの程度見込んでおりますでしょうか、まずお聞きいたします。

○**大道寺 信委員長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 以前にもお答え申し上げておりますように、現在基本計画を立ててるわけですが、見込みとしてはきちんとした裏づけがございませんので、数字だけがひとり歩きするとそこからまたお叱りを受けますので、あえて申し上げませんが、昨年9月にお認めいただいた基本計画、基本設計、同時にさまざまな調査等々も今そういったコンサル、調査会社のほうに発注しておりますので、それらの結果を見てお答えをさせていただきたいと。したがって、まだその結果が出ておりませんので、数字はちょっとひとり歩きしてしまいますので、想定はございますが、確定はしてございませんの

で、申し上げる段階ではございません。

○**大道寺 信委員長** 4番、今泉春江委員。

○**4番 今泉春江委員** じゃ、雇用は今のところ数字としてはわからないということですね。

じゃあ、次、経済効果ということで、道の駅での売り上げや純利益の予想ですね、長井市に波及する全体の経済効果というところはどのようにでしょうか。

○**大道寺 信委員長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** そちらの件もただいまと同じように、今泉委員にはなかなかご理解いただけませんでしたが、そういったことを我々市役所では残念ながら根拠ある数字を上げることができないということで、今委託してるところでございます。

○**大道寺 信委員長** 4番、今泉春江委員。

○**4番 今泉春江委員** それでは、この観光交流センターができることにより長井市内の民間の商店や企業などに及ぼす影響ですね、プラス効果、マイナス効果などはどのようにお考えでしょうか。

○**大道寺 信委員長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 数字的なところは先ほど申し上げましたとおりでございますが、まず観光交流センターの狙いは、農業振興、特に6次産業化の大きな進展に必要な施設であるということ、また食品加工はじめ今度はよりフリーのお客様が道の駅、観光交流センターをご利用いただけるということから、さまざまな地場製品の販売等、そういったところの売り上げが伸びるものだというふうに思っております。

また、マイナスの影響としては、いろいろ考えられることも当然あるんではと思いますが、今のところマイナスということはないような形で進めなきゃいけない。したがって、長井の品物を置く、できるだけこの地域外の品物を置かない、あるいは長井市内のさまざまな飲食とか物販、そういった方々のご協力を得てやってい

くということでマイナスの影響出ないようにしていかなきゃいけないと。したがって、そういうことによる産業振興によって効用をつくっていくという考え方です。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 それでは、次、お聞きします。4月から消費税が増税されます。また、来年度さらにプラスになり、5%というような消費税も予測されます。プラス5%ということが予測されます。こういう消費税増税による売り上げ、道の駅での、この観光交流センターでの売り上げなどの影響などはどういうふうにお考えでしょうか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 これはなかなか私どもで予測は難しいのでありますが、まず身近な食料品が多いということから、売り上げはなかなか市民の方一人一人財布のひもがかたくなるということから考えると、今までみたいに順調に伸びるということはないのかもしれませんが、それなりに堅調に推移するものというふうに想定しております。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 今まで4つお聞きしましたけど、この中では何もはっきりしたものはなく、消費税などの売り上げなども影響するというようなお考えですので、非常にプラスのお答えは何もないように思います。

まず、次へ進めてまいります。次ですけども、当初予算、当初私たちにお示しいただいた予算、何度か市長はお話しなさっておりますが、その後いろいろ人件費の高騰や資材の値上がりなどで当初予算より大幅にアップになっております。まず、当初予算はどのぐらいで、そして現在どのぐらいアップになったのか、最終的にはどのぐらいの予算を考えていらっしゃるかをお聞きします。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 その件につきましては、まち・住まい整備課長に答弁いたさせます。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

都市再生整備計画の当初の計画の段階では6億4,800万円でしたが、その後、計画の見直しによりまして飲食・加工コーナーなどの追加、国の宿舍の追加、または人件費及び資材の高騰などを含めまして8億9,000万円ほどになるところでございます。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 最初に計画なされた計画が6億4,800万円とおっしゃいましたね。そして追加で今8億9,400万円ということですね。違いますか。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 8億9,000万円でございます。以上です。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 そういうことであれば最終的には8億9,000万円ということで理解してよろしいのでしょうか。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 そのとおりでございます。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 じゃ、今後はこれ以上アップということはないと私たちは理解してよろしいのでしょうか。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

今、基本設計の段階の事業費でございます。

今年度それを受けまして実施設計を今度発注する事業費、細かな細部にわたっての事業費が出るわけですので、多少の増減はあるかと思いません。以上です。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 今申し上げたように、この当初より大幅な予算増というのは、今おっしゃったように人件費とか資材とかいろいろありますけども、やはり今度工事なされる場合に消費税による影響がまた出てくると思います。このことはどう対処されますか。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

先ほどお答え申し上げましたが、人件費、資材の高騰、それから消費税等含めまして事業費を8億9,000万円ということで見込んだところでございます。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 今でもこのように予算が増額になっておりますので、今後、多少の増加はあるとおっしゃいますけれども、やはり市の財政を今でさえ圧迫するのではないのでしょうか、大変疑問でございますけれども、そういう点で市長はどうお考えでしょうか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 市の財政を圧迫するということでございますが、やはり建設物価のスライドについては、これやむを得ないと。浅野まち・住まい整備課長のほうから答弁いたさせましたとおり多少の増減があるということではございませんけれども、できるだけ事業費をこれ以上上げないようにしながら対処してまいりたいと。

財政に対する後年度負担については、以前からお示しのとおりでありますので、これによって長井市がまた非常に厳しくなるというような数字ではないというふうに理解しております。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 お考えお聞きしました。

次に参ります。9月議会の観光交流センター基本設計基礎調査業務委託の報告でございますが、これは一般質問でも話になっておりますが、どうなっておりますでしょうか。いつ議会に示されるのでしょうか、お聞きします。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 まち・住まい整備課長に答弁いたさせます。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

ほかの議員の皆様のご質問にもお答えしましたが、このたびの基本設計業務委託及び基本設計基礎調査業務委託の工期が3月末日となっておりますので、成果品を受けまして内部で精査をして、議員の皆様には5月の全員協議会か、または産業・建設常任委員会の協議会のほうでご報告を申し上げたいというふうに思います。以上です。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 わかりました。

それで次の質問に参ります。この3月議会補正予算で実施設計予算が決まりました。これは昨年12月議会の予算総括質疑での市長答弁とずれがあるのではないかとということです。そこで昨年の12月予算委員会での高橋委員の議事録を読ませていただきます。高橋委員の質問で、その基本設計の成果品は25年度いっぱいぎりぎり、当初予算では関連予算案などは出てこないということになりますかという質問に、市長は、建設費予算は出ないが、まずは実施設計、基本設計とか実施測量、基本調査を踏まえて実施設計の予算、用地の買収の予算が出てまいります。工事そのものは実施設計の後ということになりますので、以上が当初予算というふうに考えて

いますと答えております。そしてさらに高橋委員は、実際その実施設計になるというのは議論をかなりしないとまずいと思っており、その成果品が出て、この成果品というのは先ほどの課長の成果品ということだと思いますけども、その成果品が出て、市の考え方がある程度まとまった段階で議会にも示していただいて、そこでかなりぎりっとした議論をしないとまずいかないのではないかとこのように心配をしています。そこは十分踏み込んでいく、進めていくことが大事なことだと思います。心配なのは今はその測量であるかというところで、まずそれが出てからの議論になるのだと言っているわけですが、その議論は5月の全協あたりで議会に示される。だとすれば少なくとも1カ月2カ月間というところは議論を集中的にするということをごきちん担保してもらわないと、この課題は難しい。市長に明言をいただきたいと質問し、市長はこれを受け、高橋委員のおっしゃるとおりだと思います。さらに当初予算を組んだとしてもやはりある程度議論いただいて納得いただいた上でないと前に進めないということですから実施設計の発注そのものは少し時間を見て十分な説明をさせてご理解いただきながら進めていきたい、このようなやりとりがありました。市長、間違いありません。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 そのとおりです。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 このように市長がお答えになっております。そうであるならばこの3月の補正予算に実施設計の予算を出してきたというのは、ちょっと本末転倒ではないでしょうか。私は、このことを聞き、基本設計の結果が出て、実施設計はその後しっかりと議論していけるのだと思っておりました。私だけではなく、市民の方もそういうふうに思っております。このことはどのようにお考えでしょうか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 今泉委員に申し上げますが、今泉委員が今、高橋委員とのやりとりの中で申し上げましたように、実施設計の予算をつけても基本設計の結果を皆様にお示しして、その後皆様からのいろんなご議論いただいて、その後実施設計を発注すると、それからじゃないと発注しないというふうに私が今泉委員に確認されたとおりでありますので、そのとおりじゃないでしょうか。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 そうであるならば私は、せっかく大きな予算をかけた基本設計調査の結果というものが出されて、それにより実施設計の予算というか、実施設計にそれが生かされるような予算を組むべきではなかったかなと思いますけども、いかがでしょうか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 まず、25年度の補正で実施設計の予算を上げさせていただいたのは、26年度の当初の予定でございましたが、これは一般質問でも、また予算総括の中でも何度もお答え申し上げてるとおり、前倒しで非常に有利な補正債を使えるということで、実質的には26年度の事業だということでもありますので、それがまず基本であります。

それとこれは5年間のパッケージ事業であります。国の補助事業であります。これを当初予算で組むというのが基本でありまして、5年間の事業を当初で全然組まないというわけにはいかないわけです。これは国とのやりとりの中で26年度にこういった予算を計上して事業執行したいので予算の枠をいただくわけですから、それを当初にしないで途中でやるということは基本的にありません。ただ、当初予算に上げて先ほどから申し上げておりますように実施設計の発注はきちんとした議論の後だということでもあります。以上です。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 市長のお考えは実施設計の予算があってもすぐには発注しないということなんですけども、やはり12月議会で成果品が出て市の考え方がある程度まとまった段階で議会にも示していただいているということも高橋委員はおっしゃっております。そこを市長は理解なさってそのとおりだとおっしゃったと私は理解しますが、そうではないんですか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 もう一度先ほど今泉委員がおっしゃったことをごらんいただきたいと思います、原稿あるようですから。高橋委員から12月のときに答弁した中身で実施設計は当初予算で組むけれどもと言ってるでしょ。ですからもう一回確認していただきたいんですよ。私は、その言ったとおりでありまして、当初予算では計上させていただきますが、基本設計が成果品として出てきて、皆様からご意見をいただいて、その後の中身を検討した上で実施設計の発注をするというふうに申し上げてると思います。先ほど今泉委員もそのように答弁書お読みになったというふうに私記憶していますが、そうでないですか。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 済みません。私が申し上げたいのは、実施設計予算というのが今回の補正予算で決まりましたよね。今、市長もおっしゃったように、有利な予算があるということで決まりましたよね。それは補正でなくて、実際は当初予算でということをして市長はおっしゃってたんじゃないんですか。だから嫌がらずに、済みません、なかなか私理解できないものから、ご説明いただければ。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 何回も申し上げておりますように、26年度の当初予算で実施設計を組ませていただいております。ただ、国のほうの補正で

ぜひ26年度の予算を前倒ししてほしいということで、その補正債を使わせていただいたと。しかし、現実的には今泉委員もご存じのように全て明許繰り越しと、26年度事業にするわけですから、実質的には何ら変わらないわけでありませぬ。ということをおっしゃるんですが、そんなことから私が高橋委員からご質問いただいた内容について答弁いたしました内容と何ら矛盾するものではないと思っております。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 市長のお考えわかりました。

しかし、なかなか私の頭では理解できないところがあります。私にとってはこのようにさまざまな問題が出ておまして、市長は「あやめR e P o」などでこの道の駅、観光交流センターの計画などを市民に示してるわけですので、またこの予算の増加、それからいろいろな計画の変更、そういうものもさらに市民に示して市民の理解を得ることが必要ではないんでしょうか、いかがでしょうか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 基本設計と基本計画を今発注してる状況でございますので、そのまだ段階でありますので、確かに事業費は8億9,000万円ぐらいまで増えてしまいましたが、それでも確定でないわけですから、それは時期を見てお知らせするということが私としてはよろしいのかなというふうに思っております。

また、市民の皆様はある程度ご理解いただいているというふうに考えておまして、したがって今の時点でまたかわと道の駅を繰り返し「あやめR e P o」で取り上げるということはもう少し後でもいいのではないかなというふうに思います。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 やはり市民は、非常にこの中身がわからないものから、どうなって

るのということで、9月に予算が決まり、一歩前へ進んだわけですから、非常にそこを疑問視してるわけですね。その不安を解消するためにも市民に予算のオーバーや計画の変更などお示しすべきではないかなと思って質問しております。

そしてこの観光交流センター、道の駅、この事業は当初、最初全員が反対しました。その後、少しずつ賛成が増え、9月議会で僅差で可決いたしました。

先日、ある市民の方が市長がある集会でこのことでこの道の駅の予算、9月に決定したことで毒まんじゅうをもらった方がいるなどと言われているが、そんなことはないなどと挨拶の中で話されたと聞きました。なぜ市長が自分からみずからそのようなことをお話しなさったのか、毒まんじゅうなどとはどういうことなのか。そして毒まんじゅうなど聞くに耐えがたい言葉です。その言葉を聞き、市民の皆さんは、ますます疑問や不安を持ち、反対の声を上げています。市民のこういう声が市長、聞こえませんか。このことをどう受けとめておりますか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 そういう話があるということかどうか知りませんが、そんなことはありませんし、そういううわさがある、これは非常に残念なことだということを申し上げただけにすぎません。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 じゃあ、市長はこの会議とか集会の中で、どういう意味をというか、そのうわさを否定するためにおっしゃったんだと思いますけども、そういうことはないは今おっしゃいましたけども、やはりこんなことを多くの市民が集まっている集会の中でおっしゃるといのは、非常に不謹慎ではないかと思います。いかがですか、市長。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 どの会議での話かはわかりませんが、私が申し上げましたのはですね、そのぐらいろいろな対立でその反対から賛成に回るとか、そういったことのそういう言われ方っていうのはひどいというお話をしたわけでありまして、何も私がそれをおもしろおかしく話したわけではないわけですよ。今泉議員、その場にいらっしゃったかどうかはわかりませんが。

私は、そういったことを言った、言わないじゃなくて、そういうことを言われるということは非常に残念だと。もう少し、やはり長井の将来をどうするかと、これぐらい活性化が叫ばれているのに、どんどん町から活力が失われて、疲弊してるわけでしょう。そういうときに、やっぱり前向きな話をしなきゃいけないんじゃないかと。

それがですね、いろいろいがみ合いみたいにされるっていうのは非常に残念だというお話をしたわけで、その今泉委員がおっしゃってる中身がわかりませんが、そういった内容で私はお話ししたんじゃないかと思えます。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 市長がどの会議でとおっしゃいましたが、その会議に出席した方から直接お聞きしました。市長はこういう毒まんじゅうというような言葉を使ったことをお聞きしました。ですから、私はそんなことはないと思っております。ですから、そのようなお言葉を使うということそのものが、非常に私は腹立たしい。とても聞くに耐えがたい言葉です。そういう市民が集まっているところでそのようなお言葉でそのうわさを否定なさるといことは、実際はそういうことを市長がお聞きになったということなんですから、やはりそういうお言葉は慎んでいただきたいと思えます。多くの皆さんがそこで集会で聞いて、その方たちがまた市民の方へと広がっていくわけですから、本当にそう

いうものがあつたのかと聞かれたときに、私は
どういふふうにお答えしたらよろしいか。いや、
市長がそういうふうにおっしゃったなら、そう
なんでしょうとお答えしたほうがいいのかどう
か。非常にそういうところでの市長のお言葉と
いうか発言というのは、市民も注目しておりま
す。やはり大切なことですから、そういうとこ
ろは本当に気をつけていただきたいと強く要望
いたします。

再度、市長いかがですか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 ご意見は承りました。

ただし、私は自分の身の潔白ということで申
し上げただけでありますので、私がいかに何
かですね、かわと道の駅を進めるために、いろ
んなあの手この手を使ったみたいなことを言わ
れるのは心外だということをお願いしてあるので、
今泉委員がおっしゃってることとは違うんです
ね。

私は市民に対して言ったのは、自分の身の潔
白を言うがためにそういったことを言ったんで
す。私は毒まんじゅうを預けたみたいなですね、
そんな言い方はないでしょうと、そういううわ
さがある、それは違いますということを、うわ
さを否定したわけですから、それがなぜ私があ
れなんのでしょうか、今泉委員から不適切だと言
われるんでしょうか、それが私には理解できま
せん。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 市長はご自分の身の潔白
をとおっしゃいました。

.
.
.
.
.
.
.

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員
.
.

○4番 今泉春江委員
.
.
.
.

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長
.
.
.
.
.
.
.
.
.

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.

.....
.....
..

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長
.....
.....
.....

(「そんなことはないぞ」の声あり)

○大道寺 信委員長 傍聴席の方、静かにお願いします。

○内谷重治市長
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員
.....
.....
.....

しかし、やはり市長がこのような言葉を使ったと、本当にそういうことがあるのか、そこが非常に残念で、私はきちんとした議論のもと、賛成の方が増えて、僅差ではございますが、この観光交流センターの計画が進んだと思っています。そういうふうには私は理解しておりますので、大変残念だということを申し上げたいと思います。

そして、次に参ります。この僅差での決定ということは、私は到底納得できないものがあり

ます。私の質問に対し、これは大きな事業です、長井市にとっては重要なことですので、僅差ではなく、やはり多数の賛成というか、理解を得てから進めてくださいというようなことを質問しております。そのときに市長は、やはり僅差ではなく、大勢の方に理解をいただきたい、そして進めるということをおっしゃっております。ですから、やはりこの僅差というもので、補正予算も今回3月で決まったわけですね、補正予算の実施設計予算が決まりました。補正予算というところで、議論もなしに、やはりその僅差の数の力で進めるなどというのはとんでもないことだと思います。

私は、この間5回も修正されたということで、本当にこれは十分皆さんと議論をして、そして納得の上で進めるべきだといつも思っておりますし、そういうふうをお願いをしておりました。ですから、何よりも優先してする事業なのかと、もっと優先すべきことがあるのではないかなどいうところにいつも考えが行き着きます。ですから、私はこの観光交流センターというものは大きく見直しをすべきではないかなど、今も思っております。

昨日ですね、地区の方の集まりがありました。そのときに、ちょっと最後の総会でしたので、総会ということで、ちょっと懇親会なども軽くあったんですけども、その中でいろんな話が出ました。やはり市民の皆さんという私と同じような年代の方の中では、やはり今、ご自分の親を介護していると、そして施設に入れてると。ところが、やはり経済的な負担が大きい、大変だと。もし自分もこの後というか、介護が必要になったときに、子供に介護や経済的な負担をかけたくないと、特別養護老人ホーム慈光園のような施設に入りたい、今のままではとても不安だと、やはり福祉ということが大事だと、大勢の方がその中で話になりました。

ですから、私はこのような市民の声に耳を傾

けて、そして私は何度も申し上げておりますけれども、福祉の町ということで、市長へ特別養護老人ホームなどの増設、そういうことで福祉に力を入れるべきだということを強く申し上げたいと思います。ですから、道の駅の見直しなども含めて、ここに力を入れていただきたいと思っています。

市長、いかがでしょうか。

(「委員長」の声あり)

○大道寺 信委員長 議事進行。

14番、高橋孝夫委員。

○14番 高橋孝夫委員

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

私はこれは許せない。取り消すなら取り消す、あったならあったで、それはきちっと何か確証があればですけど、ないのであれば、少なくともその言い方、一連のこの間のやりとりは、削除を私はしていただきたい。これは私どもの名誉のためにも申し上げたいと思いますが。

なお、委員長からその対応をお願いをしたいと思っています。

○大道寺 信委員長 12番、安部 隆委員。

○12番 安部 隆委員

.....
.....
.....
.....
.....

○大道寺 信委員長 ここで暫時休憩します。

この間、議会運営委員会の中で今後の対応について議論させていただきます。再開は、ブザーをもってお知らせいたします。

午前 11時45分 休憩

午後 1時05分 再開

○大道寺 信委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

なお、今泉春江委員から、午前中の総括質疑における発言について、訂正したい旨の申し出がありましたので、長井市議会会議規則第117条の規定により、発言を許可いたします。

4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 午前中の私の発言に対して、削除し、訂正を申し上げます。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

○大道寺 信委員長 それでは、午前中に引き続き、今泉春江委員の予算総括質疑を続行いたします。

4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 この質問はですね、市民から本当はどうなのだというふうに聞かれ、質問されたもんですから伺ったものであり、議員は市民に説明する義務があるのではないかと思います、公の場でお伺いしたところでした。

私は何も、この毒まんじゅうということで、市長がこの毒まんじゅうということをお話なさった、そのことを問題にしておるんであって、.....市長の口からこういうことが、この言葉が出たということはどういうことですかと。今、市長から、先ほど、自分の身の潔白をという説明を受けましたので、そのように受けとめまして、この質問は終わりたいと思います。

この道の駅の質問に対して、まず最後に、い

ろいろこういうふうには納得できないことがたくさんあります。ですから、まず見直していただきたいと強く申し上げ、この道の駅観光交流センターの質問は終わらせていただきます。

あと時間ありませんので、次の質問に移ります。

次の質問です。相談収納の徹底をと。違法差し押さえは根絶し、相談収納の徹底をとということでお伺いします。違法差し押さえは根絶し、相談収納についての質問です。

昨年12月議会や今回の一般質問でも質問しておりますが、児童手当は昨年、広島高裁松江支部が児童手当差し押さえは違法との認定をしたことを受け、市長は児童手当の差し押さえはしませんと約束なさいました。

しかし、一般質問では、専用口座からはしていないとのこと、ほかの口座からは今までどおりしているということですか、お聞きします。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 児童手当の差し押さえは法で禁止されており、それ自体は行っておりません。それに伴い、その振り込みが専用となっている口座の差し押さえも行っていないところです。

今回、今泉委員からあった差し押さえというようにおっしゃってる部分につきましては、税務課長に答弁いたさせますが、やはり他の納税意識の高い大多数の納税者の皆さんと公平性を欠くことのないよう、粛々と、今回は、違法でない差し押さえを実施したわけでございます。

また、我々は、税収の確保、収納率の向上を大目標に掲げております。そのためにはこのようないたし方ない差し押さえも必要というふうに考えているものであります。

○大道寺 信委員長 青木邦彦税務課長。

○青木邦彦税務課長 お答えいたします。

このたびの9件の内容でございますが、3つに分けられるというふうに思っております。一つ目でございますけれども、余り喜ばしい形で

はないんでありますが、児童手当の差し押さえについて、了承あるいは依頼をされている方がいらっしゃいます。この方が4件でいらっしゃいます。

2つ目でございますが、これも余り喜ばしい姿ではございませんが、今まで数年にわたり幾度となく差し押さえをさせていただいた方で、ましてや何の反応も相談もない方でございます。そして、しかも自主納付は一切されていない方でございます。もちろん滞納の督促、催告はさせていただいておりますが、それでもしていただけない状況でございますので、やむを得ないと思っておりますのでございます。これが2件でございます。

それで、3つ目でございますが、滞納処分に係る全体的な考え方によるものでございますが、12月議会に委員からいろいろご指導等もいただきましたので、こちらとしては新たな取り組みとして、新規の滞納者につきましては、できるだけ自主納付あるいは納税相談を促すべく、改めて差し押さえ予告書というものを送付させていただいております。それでも反応のない方につきましては、差し押さえはやむを得ないと考えるところでございまして、その各取り組みの中で児童手当の分も入っていた方もいらっしゃったということが実態でございまして、これが3件ということになります。

以上でございますけれども、いずれの方も差し押さえそのものにつきましてはご理解、ご了承、あるいは仕方がないというふうに理解しているところでございまして、そして、市長も申し上げましたとおり、最低限、専用口座についてはしないというふうなことで、できるだけ少なくなるような方向で私どもも取り組んでいる状況でございます。以上でございます。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 今、課長のほうからご答弁いただきましたけど、2月10日の専用口座で

ない差し押さえは9件、36万5,669円となっておりますけども、今、市民がお願いしていることとか何回差し押さえてもとか、いろいろその9件の内容を説明いただきました。これ以外にはないということですか。児童手当が振り込まれた、そのほかは全部専用口座ということなんでしょうか。

○大道寺 信委員長 青木邦彦税務課長。

○青木邦彦税務課長 お答えいたします。

児童手当に係る専用口座については、一切差し押さえはしておりません。児童手当に全く関係のない方の差し押さえもさせてもらっている例はございます。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 市長がおっしゃるように、専用口座からはしてないと。そして、2月10日の専用口座でない差し押さえが9件ということで、これで児童手当振り込みの差し押さえというのはこの9件だけで、あとはないということですか。そういう、ちょっとそこを課長、お願いいたします。

○大道寺 信委員長 青木邦彦税務課長。

○青木邦彦税務課長 児童手当に対します差し押さえは9件でございまして、それに一切関係のない差し押さえについては6件ほどさせていただいておるということでございます。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 わかりました。

長井市では、児童手当をもらってる方が相当いらっしやると思います。その中で、この9件以外は皆さん児童手当としてお受け取りになってるということでよろしいわけですね。何かちょっと意味がわかりませんが。本当にこの9件だけで、あとはしてないというふうに判断してよろしいんですね、課長。

○大道寺 信委員長 青木邦彦税務課長。

○青木邦彦税務課長 専用口座でない方では、児童手当をもらってる方は確かにいらっしやいま

す。児童手当専用の口座についての方については、児童手当をもちろんもらってるわけですが、その方については差し押さえはしておりません。専用口座以外の方で、これらの方をさせていただいたということでございます。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 わかりました。ちょっと専用口座だけの方が何人いらして、そうでない方が何人だったかとか、そこまではちょっと詳しくわからないもんですから。

でも、この児童手当ですよ。だから、私が質問しております、資料をお願いしたものは、2月10日の専用口座でない児童手当振り込みの差し押さえは何件かということをお聞きして、9件という、36万5,669円という資料をいただいたわけなんですけども、そのほかの専用口座でないものは、してますということなんですね。何回も申しわけありません、納得するのに。

○大道寺 信委員長 青木邦彦税務課長。

○青木邦彦税務課長 児童手当をいただいている方のうち、専用口座の方については一切差し押さえはしておりません。専用口座でない方、いろんなお金が入出金されている口座についてのうちといいますか、この方については、これらの9件の方にさせていただいております。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 しかし、申し上げたいのは、児童手当の趣旨からしても、児童手当そのものは児童の養育に充てるべきものであり、専用口座でなくても児童手当というものは差し押さえすべきではありません。児童手当を受ける権利自体を差し押さえたと変わりはないのだと思います。

しんぶん赤旗に掲載されておりました記事に、京都府が国保税滞納で、差し押さえが5年前と比べると4倍に急増、預金、給与、容赦なく、5年前に1,035件だったのが4,257件に増えたという記事が出ておりました。長井市も私、12月

議会でも質問しましたが、5年間で同じように増えております。その中で、長井市は平成24年度959件という差し押さえでした。京都府では4,257件と急増しておるということだったんですけれども、2万8,000人の長井市が959件、京都府、あの大きい京都府でさえ4,257件ということなんですけども、やはりこの長井市の多さには本当に驚くわけですね。

今後児童手当の差し押さえはないというので、差し押さえ件数はずっと減ると思いますけども、やはり県内13市の差し押さえ件数はトップだということを私は申し上げました。このトップというのは、いいことのトップでは本当に賛成ではございますが、このようなトップというのはやめていただきたい。そして、差し押さえは根絶して、相談収納を徹底していただきたいと思っておりますけども、市長の考えをもう一度伺います。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 以前にも申し上げましたとおり、差し押さえの件数が近年増えてきたということは、余り褒められたものでない、できればそういったことはしたくない。

ただし、放置してしまいますと、むしろご本人も大変になります。ですから、どこかの時点で、やはり増やすこともいたし方ないのかなど。やはり税の公平性という面から言えば、今がピークで、これからは徐々に減らしながら、ぜひ差し押さえしなくてもお納めいただくような、そんな私どもの努力もこれからもしていかなければならないと思います。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 努力をすると市長からおっしゃっていただきました。ぜひそうしていただいて、相談収納で収納率も県内トップとなっただけでいただきたいと思っております。

それで、最後の質問に参ります。市長は来年度の予算の中で、市民の福祉、暮らし向上のた

めにいろいろな施策を考え、予算を計上されております。

そこで、そこの中では子供の医療費を中学3年まで無料拡大、インフルエンザ予防接種補助、消費税増税による給食費の保護者負担の分は値上げしない、また、国民健康保険被保険者の基本健診の無料化、それから20歳から39歳までの方への検診無料クーポン券の送付、さらに住宅リフォーム、新築補助の継続や拡大など、市民の生活に寄り添った多くの提案がされております。私は、これは大きく市長の市政に対して評価させていただきます。ですので、市長はそういうことであれば、差し押さえなど市民が困っていることに対して、やはり相談収納などということで差し押さを根絶していただきたいと強く思います。

市長のこの、私はギャップというか、市長のこういう相談収納、強制差し押さえと市民に寄り添った市政というこの違いがどうなのかなと非常に疑問に思うところです。

このように、私は、市長はやる気になれば、市民に寄り添う温かい市政が幾らでもできるんだと思います。このことを裏切ることなく、市民に寄り添う温かい市政運営をしていただきたいと強く思います。それを大きく期待いたします。

最後に、市長のそのお考えをお聞きします。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 今泉委員からご評価いただきましてありがとうございます。もっともっと市民福祉の向上を図らなければならないと、そのためにも行革を職員一丸となって、そして皆様からご理解、ご協力いただいて行ってきたわけですから、今後もさらに充実したいと思っております。

なお、差し押さえについては、これは今後できるだけ少なくしていかなければなりません、しかし、何もしないしていると、不公平性ということが生じてまいります。そういった意味でい

えば、今後はそういったことを減らしながらも、ぜひ何とかお納めいただけるような、そんな努力もしてまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 終わります。

小関秀一委員の総括質疑

○大道寺 信委員長 次に、順位7番、議席番号5番、小関秀一委員。

○5番 小関秀一委員 大分春めいた天気で、春の兆しがぼかぼかと伺えるきょうでありますけれども、予算総括最後になります。よろしくお願ひ申し上げます。

提示されております26年度の予算については、説明のあったとおり122億円、昨年度から比べますと、金額で9億3,000万円、8.2%の増額になる大型予算であります。さまざまな市民生活のための新しい事業も起こしながらの予算ということでもありますので、一つ一つ意義のある、またちょっとその工夫が必要かなというふうなことも含めて提示されております。

私は、予算総括に当たりまして、3つの項目で質問をさせていただきます。

一つ目は、マスコミ等でも長井市の予算の概要の記事の中では、大きく市営バスの拡充についても報道されております。かつて、私も一般質問でも市営バスのメリット、デメリット、課題や改善点等について質問をさせていただきながら、市民の足としては、理想的にはデマンドが一番と利便性があるんでないかというふうなことを申し上げたことがありました。今回、25年度の調査事業でさまざまとめられまして、今般の予算の中で、特に7月からの予定として、新しい路線で市営バスが運行されるということ

でありますので、少し市営バスの運行について質問させていただきます。

予算的には、バスの運行経費として、バスの購入とはまた別に2,178万円ほどの運行経費がかかると、収入見込みとして551万9,588円を予定しておられるということでもあります。ですので、全体の長井市の負担は1,400万円ほどの経費で、新しい路線できめ細かく市民の足を守られるということでもありますけれども。

まず最初にですが、企画調整課長にお伺ひします。私どもは10月にも調査の中間報告をいただいて、市民の方々の意見としてさまざまなアンケートと住民の意見をお聞きになったということではありますが、主に私、特に注目したいのは、どういった年齢の方からの調査なりがされたのか、その辺確認をさせていただきたいと思ひます。

○大道寺 信委員長 鈴木一則企画調整課長。

○鈴木一則企画調整課長 各地区のほうの地区説明会のほうにつきましては、各地区の役員の方々でございまして、年齢と申しますと、大体高齢者の方が中心になろうかと思ひます。若い方もいらっしゃいますけれども、その中で説明をさせていただきました。

一番の今回のバスの導入は、地域の足ということで、今後高齢化社会を進むに当たっての高齢者の足を、公共交通の足というふうな一番の目的がございまして、ここでは実際的には地区にばらつきがありまして、多く参加いただいたところ、少ないところということもございました関係で、さらにミニデイサービスのほうにも入らせていただいたところでは、ミニデイサービスにつきましては、10カ所ほど入らせていただいて、地区の役員の方々だけでなく、実際にお乗りいただくことを想定してご意見を伺ってまいったところでございます。

○大道寺 信委員長 5番、小関秀一委員。

○5番 小関秀一委員 報告していただいた部分